

## カリキュラム詳細

日程	タイトル	講義内容	備考
9月6日 (木) 9:15~16:45	講義と分析の概要	データの科学的活用とは 分析のステップ 代表的な分析手法 分析事例の紹介	
	データの捉え方	中央の指標とばらつきの指標 1つの項目(変数)をいろいろな角度から分析する	実習: Tableau 棒グラフ 箱ひげ図 A B C分析 時系列売上推移
	データの関連性の発見	関連の強さ(相関関係)を知る	実習: Tableau 散布図 クロス集計 層別箱ひげ図
9月7日 (金) 9:15~15:00	顧客の特徴の把握	コンビニデータによる顧客の特性把握	実習: Tableau、EXCEL 売上・顧客・店舗データの統合 RFM指標の作成 RFM分析実施
	仮説の設定	仮説思考 仮説を考える際の手がかり コンビニデータを使った仮説の設定 ワーク&発表	実習: Tableau、EXCEL 常識・知識からの仮説 設定と、基礎データを見ながらの仮説設定
	総合演習	コンビニデータを使った分析実習 考察・まとめ・発表	実習: Tableau、EXCEL
9月13日 (木) 9:15~16:45	キャンペーンに反応する 人の特徴は?	統計的に意味があるとはどういうことか(仮説検定) グラフで分かった特徴の数値的裏付け キャンペーンに反応した人と関連する要因の把握 (2変数の関連から)	実習: R 相関係数 カイ二乗検定
		多変量解析の王道: 回帰分析	実習: R 単回帰分析 重回帰分析 ロジスティック回帰分析
		人が理解しやすい要因把握: ツリー分析	実習: Tableau、R ツリー分析
9月14日 (金) 9:15~15:00 ※ 大学生はレポート 作成/提出のため 16:45まで	分析手法の選び方	回帰分析とツリー分析の比較 (実際の予測結果の検証)	実習: Tableau、R 誤分類率
	総合演習	コンビニデータを使った解析実習 分析方針の作成と実施 考察・まとめ・発表	実習: Tableau、R

### 講師 大原 佳子氏 (三菱総研 DCS 株式会社 事業推進企画部副部長)

日本興業銀行(現みずほ銀行)、SAS Institute Japan、アクセンチュアにおいて分析業務に従事。現在は、顧客行動履歴分析経験を活かしたデータサイエンスプロジェクトや、一般企業向け AI・ビッグデータプロジェクトに携わる。データ解析のエキスパートを養成するとともに、大学の非常勤講師としてデータサイエンスの講義を担当。